

- 1面 第3次旅団訓練検閲
- 2面 旅団部隊スキー指導官養成集合訓練
- 3面 第62回おびひろ水まつり支援
- 4面 しかりべつコタン2025支援

ひがし北海道 5th BRIGADE だより

陸上自衛隊
第5旅団広報紙
発行所
第5旅団司令部
総務課 広報班

第252号(1)
2025. 3



第4普通科連隊



4個部隊が同時受閲

第5後方支援隊



第5通信隊



第5化学防護隊



第3次旅団 訓練検閲



第4普通科連隊



防御戦闘

第5後方支援隊



整備中隊による
車両整備

第5通信隊



通信用アンテナ設置

第5化学防護隊



除染活動

第5旅団（旅団長 岸良陸将補）は、2月14日（金）から19日（水）までの間、然別演習場及び帯広駐屯地において、第3次旅団訓練検閲を実施しました。

本訓練検閲は、第4普通科連隊（連隊長 小林1佐）、第5後方支援隊（隊長 上原1佐）、第5通信隊（隊長 西條2佐）及び第5化学防護隊（隊長 山本3佐）の4個部隊に対して、防御を主体とする戦術行動の訓練練度を評価・判定するとともに、その進歩向上を促すことを目的に実施しました。

状況開始後、スキー行進から始まり、行進終了後、第4普通科連隊は、戦場となる地域の特性を的確に把握し、機動、火力、情報等の各種戦闘力を組織化しつつ、敵の攻撃から防御陣地を守り抜きました。第5後方支援隊は、被支援部隊への献身的な兵站、衛生支援を行い、旅団の継戦能力を維持し、第5通信隊は、旅団のシステム通信を確保するとともに、あらゆる状況下においても、創意を尽くしてシステム通信を防護しました。第5化学防護隊は、敵の化学攻撃に対し、警報の伝達、適切な防護要領の統制、汚染地域における迅速な除染活動により、戦闘力の早期回復を図り部隊の行動を容易化する等、

4個部隊はそれぞれの部隊の任務に邁進して、積雪寒冷地部隊としての実力を発揮して状況が終了しました。

状況終了後の概評において、第5旅団長は「受閲した4個部隊は、本訓練検閲で得た成果を今後に反映して、それぞれの部隊長を核心として任務に励み、職務に邁進して欲しい」と講評を述べ、本訓練検閲を終了しました。

第5旅団部隊スキー指導官養成集合訓練

要望事項
「探求心」

第6即応機動連隊が担任

物事の本質を見極めよう
とする気持ちをもって
部隊スキー指導官を目指せ



10式雪上車による曳行スキー



遭難者救出法

第5旅団は、1月27日（月）から2月7日（金）までの間、美幌駐屯地及び同駐屯地周辺のスキー場において、令和6年度旅団部隊スキー指導官養成集合訓練を第6即応機動連隊（連隊長 中津1佐）が初めて担任となり実施しました。

本訓練は、積雪寒冷地において、重要な役割を果たす部隊スキー指導官になるために、専修員は、主任教官（第6即応機動連隊・神戸2尉）要望事項である「探求心」から①物事の本質を見極めようとする気持ち、②深い知識を得たり原因を突き止めようとする気持ちを持って、スキー滑降及び滑走の知識及び技術を向上させました。次に雪山での遭難者の捜索や搬送方法など、実際の状況を想定した訓練により、専修員はあらゆる冬季の想定を迅速かつ正確に対応する能力を養いました。そして指導官になる上では、実際に指導官としてスキー技術を教えることから指導能力及び指導官としての責任感を向上させることができました。

訓練終盤の認定試験では、学科・スキー技術・指導法について、専修員は、今まで練成した成果を遺憾なく発揮して、晴れて35名の部隊スキー指導官が誕生しました。

主任教官を務めた神戸2尉からは、専修員に対し「我々はスキーヤーを育成したいわけではない。部隊スキー指導官を育成したいので、傾斜地や平地に特化したスキー技術だけでなく、積雪寒冷地における全ての知識や技術をこれからは部隊スキー指導官として普及して行ってほしい」と語りました。

晴れて部隊スキー指導官になった専修員は、積雪寒冷地能力を強化するために各部隊に知識及び技術を普及していきます。



スキー行進



認定試験



徽章授与

第62回

おびひろ氷まつり

歴史と伝統のある祭りを支援

来場者に笑顔が溢れる滑り台を完成させる

第5旅団は、1月7日(火)から2月2日(日)までの間、帯広市緑ヶ丘公園内において、冬の風物詩として地域の人々に長年親しまれている伝統行事の第62回おびひろ氷まつりを支援しました。

本支援は、第4普通科連隊(連隊長 小林1佐)が協力担任官となり、帯広駐屯地内旅団隷下部隊から集成した制作隊が、長さ約12メートルの滑り台を、昨年より大幅に少ない積雪量という厳しい環境の中、これまで培われて継承されてきた技術で、少ない積雪量でも創意工夫して制作していきました。特に隊員一人ひとりが「来場者に楽しんでもらって、笑顔になってほしい」という思いを込めて、積極的かつ真摯に作業に取り組んで滑り台を完成させました。

氷まつり開催期間中は、3日間で約17万人の来場者が迫力ある滑り台を前に、長蛇の列を作り、歓声を上げながら楽しむとともに、同まつり最終日には、第5音楽隊(隊長 吉田1尉)が野外ステージによる音楽演奏を実施し、会場は大いに盛り上がりました。

制作隊長である山内1尉(第5旅団広報班長)は、「制作期間中は天候が恵まれず、困難な状況が続きましたが、開催期間に滑り台を滑る子供たちの笑顔が見られたことは本支援の任務を達成できたものと感じました」と語りました。

第5旅団は本支援を通じて、地域住民の皆様から自衛隊に対するご理解を頂くとともに、冬季における築城能力の練度向上にも繋げることができました。



夜は装備品展示前でファイヤーステージや花火が打ちあがる



氷の滑り台を制作する制作隊

 **YouTube 配信中**



「第62回おびひろ氷まつり」
氷雪像等制作支援隊

道東守り
第五旅団



たくさんのご来場
ありがとうございました!

しかりべつコタン2025

イグルーの作成を支援

鹿追駐屯地（司令 三浦2佐）は、1月10日（金）から1月24日（金）までの間、鹿追町の然別湖で1月25日（土）から実施されている「しかりべつ湖コタン2025」の準備を支援しました。

「しかりべつ湖コタン」は、凍った然別湖上に真冬の間だけ作られる「幻の村（コタン）」で、氷や雪で作られたイグルー・アイスバー・氷上露天風呂・氷上足湯などがあり様々な国から観光客が訪れる人気のイベントです。

1月10日（金）から行った支援では、駐屯地の各部隊から隊員4名が参加し、極寒の然別湖において、氷のブロック作製及び運搬等を担当しました。20日には、鹿追町副町長及び鹿追町観光協会会長とともに、駐屯地司令業務室長（小倉3佐）が製作現場を訪れ、コタン準備の参加者を激励しました。

鹿追駐屯地は、本支援を通じて、地域住民の自衛隊に対する理解と親近感を深めてもらうことができました。



激励後のコタン製作者集合写真



イグルー作成を支援

自衛官等募集中！！

募集種目	試験期間	試験会場	受付締切	受験資格
自衛官候補生	受付時にお知らせします。	受付時にお知らせします。	年間を通じ行っております。	自衛官候補生 →
第1回予備自衛官補	4月6日(日) ~ 4月20(日)の内1日	帯広、釧路、美幌 (細部調整中)	4月8日(火) 締め切り	一般 →
				技能 ←
第1回幹部候補生【1次】 (一般要員・飛行要員)	4月12日(土)	帯広、北見、釧路、美幌 (細部調整中)	4月4日(金) 締め切り	幹部候補生 →
第1回幹部候補生【1次】 (歯科・薬剤科)	4月13日(日) *13日は飛行要員のみ			
第1回一般曹候補生【1次】 (一般)	5月17日(土) ~ 5月25(日)の内1日	帯広、釧路、北見、美幌 (細部調整中)	5月7日(水) 締め切り	一般曹候補生 ←

☆お問い合わせ先 自衛隊帯広地方協力本部 募集課

(0155)23-5882・内線:8-18-2704 (FAX兼)



Facebook

帯広地本検索

陸上自衛隊第5旅団【公式】エックス
をぜひご覧ください！

検索
第5旅団
ホームページ



各種イベントや部隊の紹介、過去の「ひがし北海道だより」など情報が盛りだくさん！ぜひ！クリックを！